

Sクリート工法

NETIS 登録 : KT-160122-A

施工要領書

BIRCS

株式会社バークス環境

概 要

Sクリートアップ（改質・強化剤）とSクリートガード（浸透性撥水剤）の両方を塗布することで、コンクリート内部の改質・強化・遮水性を高め、ひび割れの発生や拡大を抑制します。さらに、コンクリート表層の撥水効果・塩化物イオン等の侵入抑制効果により、コンクリート構造物の耐久性を向上させ建物の長寿命化に貢献します。

特 長

- 1、コンクリート構造物の遮水・防水
- 2、鉄筋の防錆
- 3、塩害抑制
- 4、凍害抑制
- 5、エフロ抑制
- 6、アルカリ骨材反応抑制
- 7、中性化抑制
- 8、防汚・防カビ・防藻

施工可能な素地

コンクリート・モルタル・コンクリート 2 次製品

施工前確認事項

- 1、 下地の汚れ、カビ、レイタンスは高圧洗浄かサンダーにて除去してください。酸洗いをした場合は必ずアルカリ中和処理をしてください。アルカリ中和処理は弊社にて、アルカリクリーナーをご用意しております。
- 2、 施工可能な気温は 5 度以上です。（Sクリートガードは-5 度でも施工可能）
- 3、 コンクリート構造物にジャンカ、ひび割れ、爆裂、漏水などの断面修復をする場合は、断面修復前にSクリートアップを $0.2\sim 0.25\text{ L}/\text{m}^2$ を塗布してから補修をしてください。尚、ひび割れ補修には別途Sクリートクラック工法をお勧めします。
- 4、 鉄筋の防錆には別途ペガサビン（浸透性亜硝酸カルシウム系防錆剤）をお勧めします。

施工用具

刷毛・ローラー（短毛ウーローラー）・噴霧器・バケツ・計量器

施 工

1、養生

ガラス、アルミサッシ、金属、その他一般的な養生をしてください。

2、Sクリートアップ塗布

- ・ Sクリートアップを使用する前に良く攪拌してください。
- ・ Sクリートアップは無色無臭な水性の液体ですが、高アルカリ性ですので、塗布作業は必ずゴム製手袋等を着用ください。
- ・ 塗布用具は刷毛・ローラー・噴霧器等を使用ください。
- ・ Sクリートアップの塗布はたっぷりと下地が均一に飽和状態になるように1回～2回（追っかけ）塗布してください。
塗布量は0.1～0.15L/m²です。

3、乾燥養生

- ・ Sクリートアップ塗布後は最低24時間以上乾燥養生させます。工期に余裕がある場合は3～4日以上養生させてください。
- ・ 降雨の恐れがある場合はシート養生してください。

4、Sクリートガード塗布

- ・ Sクリートガードを使用する前に良く攪拌してください。
- ・ Sクリートガードは特殊アルコール系です。高アルカリ性ですので、塗布作業は必ずゴム製手袋等を着用ください。
- ・ 塗布用具は刷毛・ローラー・噴霧器等を使用ください。
- ・ Sクリートガードの塗布は下地が均一に飽和状態になるように2回塗布してください。
1回目塗布してから最低6時間以上空けてから2回目を塗布してください。工期に余裕があれば半日（12時間）以上乾燥させてから2回目を塗布してください。
塗布量は0.2L/m²です。

5、注意事項

- ・ 気温が5度以下での施工は避けてください。（Sクリートガードは-5度以下でも施工可能）
- ・ 雨天時での施工は避けてください。
- ・ Sクリートガードの容器に水が混入しないようにしてください。水が混入するとジェル状に固まります。
- ・ クリートアップが、鉄、ガラス、タイル等に付着すると、白く結晶化しますので、適切に養生してください。